

# 「参画と協働の推進方策」の策定（案）

現方策（R3～R7）	新方策（R8～R12）	修正等の考え方
<p><b>1 趣旨</b></p> <p>(1) 目的と性格</p> <p>「参画と協働の推進方策」は、県が参画と協働に関する施策を展開するための基本となるものであり、「県民の参画と協働の推進に関する条例」（以下「参画・協働条例」という。）第6条第2項及び第8条第2項に基づく「地域づくり活動支援指針」及び「県行政参画・協働推進計画」（以下「指針・計画」という。）として位置づけられます。</p> <p>なお、指針・計画は、相互に密接に関連することから、基本的な考え方を共有した一体の推進方策として策定します。</p> <p>① 地域づくり活動支援指針</p> <p>「地域づくり活動支援指針」は、県民と県民のパートナーシップによる自発的で自律的な意思による「地域づくり活動」のさらなる拡がりに向け、県としての基本的な支援の考え方と、施策の基本的な展開方向を明らかにすることを目的とし、参画と協働による地域づくりを推進するうえで、県行政の総合的な指針としての役割を担っています。</p> <p>② 県行政参画・協働推進計画</p> <p>「県行政参画・協働推進計画」は、県民と県行政とのパートナーシップによる「県行政への参画と協働」の推進に向け、県としての基本的な考え方と、施策の基本的な展開方向を明らかにすることを目的とし、県民の県行政への参画と協働を推進するうえで、総合的な計画としての役割を担っています。</p> <p>(2) 運用</p> <p>本推進方策は、<u>令和3(2021)～令和7(2025)年度の5年間</u>を運用期間とします。</p> <p>また、この推進方策に基づき、参画と協働に関する具体的な施策を体系的に明らかにするとともに、参画・協働条例第11条に基づき、年次報告を作成・公表します。</p>	<p><b>1 趣旨</b></p> <p>(1) 目的と性格</p> <p>「参画と協働の推進方策」は、県が参画と協働に関する施策を展開するための基本となるものであり、「県民の参画と協働の推進に関する条例」（以下「参画・協働条例」という。）第6条第2項及び第8条第2項に基づく「地域づくり活動支援指針」及び「県行政参画・協働推進計画」（以下「指針・計画」という。）として位置づけられます。</p> <p>なお、指針・計画は、相互に密接に関連することから、基本的な考え方を共有した一体の推進方策として策定します。</p> <p>① 地域づくり活動支援指針</p> <p>「地域づくり活動支援指針」は、県民と県民のパートナーシップによる自発的で自律的な意思による「地域づくり活動」のさらなる拡がりに向け、県としての基本的な支援の考え方と、施策の基本的な展開方向を明らかにすることを目的とし、参画と協働による地域づくりを推進するうえで、県行政の総合的な指針としての役割を担っています。</p> <p>② 県行政参画・協働推進計画</p> <p>「県行政参画・協働推進計画」は、県民と県行政とのパートナーシップによる「県行政への参画と協働」の推進に向け、県としての基本的な考え方と、施策の基本的な展開方向を明らかにすることを目的とし、県民の県行政への参画と協働を推進するうえで、総合的な計画としての役割を担っています。</p> <p>(2) 運用</p> <p>本推進方策は、<u>令和8(2026)～令和12(2030)年度の5年間</u>を運用期間とします。</p> <p>また、この推進方策に基づき、参画と協働に関する具体的な施策を体系的に明らかにするとともに、参画・協働条例第11条に基づき、年次報告を作成・公表します。</p>	<p><b>【全般的な事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>審議内容、新たな地域創生戦略などの調整</li> </ul> <p>・運用期間の修正</p>
<p><b>2 社会背景と地域社会の課題</b></p> <p>(1) 進行する人口減少</p> <p>兵庫県の人口は2009年の560万人をピークに減少局面を迎えており、今後の見通しについても、減少傾向が続いている。また、65歳以上の高齢者人口は増加傾向にあり、2025年には県民の約3人に1人が高齢者になると推計されています。</p> <p>(2) 小規模集落の増加</p> <p>県内の小規模集落は増加を続けており、この10年間で倍増しています。特に多自然地域での増加が顕著になっています。</p> <p>(3) コロナ禍の影響</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大により、地域活動についても交流機会の制限やイベント等の中止・延期など大きな影響が出ています。</p> <p>(4) 地域社会運営上の課題</p> <p>県民交流広場へのアンケートで最も多くの地域が課題としてあげているのは「活動スタッフの固定化や高齢化、人材不足（78.8%）」「活動リーダーの後継者育成（75.4%）」です。都市部、農村部に限らず、人口減少、若者世代の流出等が進むことにより、地域づくり活動の担い手の高齢化、固定化、新たな担い手の参加の減少といった地域が抱える課題につながっています。</p> <p>また、「活動のマンネリ化」「住民の関心が低い」も課題とし挙げられます。その他、活動に取り組むための活動資金の不足や世代間・住民間、他団体との連携不足、活動の情報が不足しているといった課題が見られます。</p>	<p><b>2 社会背景と地域社会の課題</b></p> <p>(1) 進行する人口減少</p> <p>兵庫県の人口は平成21年（2009年）の560万人をピークに減少に転じ、令和7年（2025年）の推計人口は530.9万人にまで減少し、65歳以上の高齢者人口が30%を超えると推計されています。とくに多自然地域では、集落の維持・活性化が困難となりつつあり、ICTの活用などにより広域的に支え合う地域運営や都市部との連携が重要となっています。</p> <p>(2) 地域における孤独孤立の進行</p> <p>都市部を中心に家族の規模が小さくなる中、地域での付き合いがない割合が増加するなど、地域におけるつながりの希薄化が進んでいます。</p> <p>(3) 多様な学び・働き方などライフスタイル・価値観の多様化</p> <p>コロナ禍の影響でオンライン環境が進展し、多様な学び・働き方が求められており、他者や自然とつながりながら生きる、こころ・生活の豊かさを追求する層の広がりが見られるなど、ライフスタイル・価値観の多様化が見られます。</p> <p>(4) 地域社会運営上の課題</p> <p>地域運営組織が継続的に活動していく上で課題（問題）として考えていることは、「活動の担い手となる人材の不足」が79.2%と最も多く、次いで「団体の役員・スタッフの高齢化」が62.1%となっています。</p>	<p>・社会情勢等を記載</p>

現方策 (R3~R7)	新方策 (R8~R12)	修正等の考え方																										
<p><b>3 基本的考え方</b></p> <p><b>(1) 参画と協働による兵庫づくり</b></p> <p>人口減少、少子高齢化の進行に伴い、地域の活力や賑わいの低下が懸念され、地域活動の担い手の減少がコミュニティの持続性に影響を及ぼしかねない中、多様な地域に多彩な文化と暮らしを築く美しい兵庫を実現するためには、<u>コロナ禍及び</u>ポストコロナ社会においても、県民一人ひとり、地域団体、ボランティアグループ、事業者等が、地域社会の構成員としての自覚と責任を持ち、主体的に地域について考え、連携・協力しながら、課題解決に取り組んでいく「参画と協働」が、これまでにも増して重要となっています。</p> <p>これは、現在、県が取り組んでいる地域創生を推進するにあたっても必要なことです。</p> <p>こうした地域の実情を踏まえ、引き続き、参画と協働を推進するにあたっては、「ともに知る」「ともに考える」「ともに取り組む」「ともに確かめる」「ともに支える」という5つの要素を基本に、地域社会の課題解決力、人材確保・養成力を高める仕組みづくりの推進等に重点をおいて取り組みます。</p> <p><b>【参画と協働の5つの要素】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>「ともに知る」</td><td>みんなで、地域の状況や課題などについて、知らせ合い、わかり合う</td></tr> <tr> <td>「ともに考える」</td><td>みんなで、知恵を出し合い、話し合い、ともに取り組む方向を考える</td></tr> <tr> <td>「ともに取り組む」</td><td>みんなで課題解決に向けて、お互いの持っている力を生かして、協力しながら、実行していく</td></tr> <tr> <td>「ともに確かめる」</td><td>これまでの取組について、できしたこと、できなかったこと、その原因などを明らかにし、今後どうするかについて、みんなで考える</td></tr> <tr> <td>「ともに支える」</td><td>お互いの信頼関係に基づき、みんなで参画と協働の仕組みや体制をつくる</td></tr> </table> <p><b>(2) 推進にあたっての3つの視点</b></p> <p>参画と協働の推進にあたっては、府内や市町との連携体制の構築に留意しながら、次の3つの視点を踏まえて取り組みます。</p> <p>① <b>県民主役による展開</b></p> <p>県民の自発的かつ自律的な地域づくり活動の取組を支援するとともに、県民生活を重視した県行政を推進します。</p> <p>② <b>過程（プロセス）の共有</b></p> <p>県民一人ひとり、地域団体、ボランティアグループ、NPO、事業者、行政等といった地域社会の構成員が話し合い、実践し、それを評価・検証し、より良いものにしていく過程（プロセス）を重視します。</p> <p>③ <b>相互信頼のネットワークの形成</b></p> <p>多様な主体が、過程（プロセス）を共有しながら、お互いの特色や違いを認め合い、支え合い、助け合う中で、相互に理解を深め、対等で確かな信頼関係に基づくパートナーシップを確立し、柔軟で多様なネットワークを形成します。</p>	「ともに知る」	みんなで、地域の状況や課題などについて、知らせ合い、わかり合う	「ともに考える」	みんなで、知恵を出し合い、話し合い、ともに取り組む方向を考える	「ともに取り組む」	みんなで課題解決に向けて、お互いの持っている力を生かして、協力しながら、実行していく	「ともに確かめる」	これまでの取組について、できしたこと、できなかったこと、その原因などを明らかにし、今後どうするかについて、みんなで考える	「ともに支える」	お互いの信頼関係に基づき、みんなで参画と協働の仕組みや体制をつくる	<p><b>3 基本的考え方</b></p> <p><b>(1) 参画と協働による兵庫づくり</b></p> <p>人口減少、少子高齢化の進行に伴い、地域の活力や賑わいの低下が懸念され、地域活動の担い手の減少がコミュニティの持続性に影響を及ぼしかねない中、多様な地域に多彩な文化と暮らしを築く美しい兵庫を実現するためには、ポストコロナ社会においても、県民一人ひとり、地域団体、ボランティアグループ、事業者等が、地域社会の構成員としての自覚と責任を持ち、主体的に地域について考え、連携・協力しながら、課題解決に取り組んでいく「参画と協働」が、これまでにも増して重要となっています。</p> <p>これは、現在、県が取り組んでいる地域創生を推進するにあたっても必要なことです。</p> <p>こうした地域の実情を踏まえ、引き続き、参画と協働を推進するにあたっては、「ともに知る」「ともに考える」「ともに取り組む」「ともに確かめる」「ともに支える」という5つの要素を基本に、地域社会の課題解決力、人材確保・養成力を高める仕組みづくりの推進等に重点をおいて取り組みます。</p> <p><b>【参画と協働の5つの要素】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>「ともに知る」</td><td>みんなで、地域の状況や課題などについて、知らせ合い、わかり合う</td></tr> <tr> <td>「ともに考える」</td><td>みんなで、知恵を出し合い、話し合い、ともに取り組む方向を考える</td></tr> <tr> <td>「ともに取り組む」</td><td>みんなで課題解決に向けて、お互いの持っている力を生かして、協力しながら、実行していく</td></tr> <tr> <td>「ともに確かめる」</td><td>これまでの取組について、できしたこと、できなかったこと、その原因などを明らかにし、今後どうするかについて、みんなで考える</td></tr> <tr> <td>「ともに支える」</td><td>お互いの信頼関係に基づき、みんなで参画と協働の仕組みや体制をつくる</td></tr> </table> <p><b>【推進にあたっての3つの視点】</b></p> <table border="1"> <tr> <td><u>県民主役による展開</u></td><td>県民の自発的かつ自律的な地域づくり活動の取組を支援するとともに、県民生活を重視した県行政を推進する</td></tr> <tr> <td><u>過程（プロセス）の共有</u></td><td>県民一人ひとり、地域団体、ボランティアグループ、NPO、事業者、行政等といった地域社会の構成員が話し合い、実践し、それを評価・検証し、より良いものにしていく過程（プロセス）を重視する</td></tr> <tr> <td><u>相互信頼のネットワークの形成</u></td><td>多様な主体が、過程（プロセス）を共有しながら、お互いの特色や違いを認め合い、支え合い、助け合う中で、相互に理解を深め、対等で確かな信頼関係に基づくパートナーシップを確立し、柔軟で多様なネットワークを形成する。地域間のネットワークという視点も必要である。</td></tr> </table>	「ともに知る」	みんなで、地域の状況や課題などについて、知らせ合い、わかり合う	「ともに考える」	みんなで、知恵を出し合い、話し合い、ともに取り組む方向を考える	「ともに取り組む」	みんなで課題解決に向けて、お互いの持っている力を生かして、協力しながら、実行していく	「ともに確かめる」	これまでの取組について、できしたこと、できなかったこと、その原因などを明らかにし、今後どうするかについて、みんなで考える	「ともに支える」	お互いの信頼関係に基づき、みんなで参画と協働の仕組みや体制をつくる	<u>県民主役による展開</u>	県民の自発的かつ自律的な地域づくり活動の取組を支援するとともに、県民生活を重視した県行政を推進する	<u>過程（プロセス）の共有</u>	県民一人ひとり、地域団体、ボランティアグループ、NPO、事業者、行政等といった地域社会の構成員が話し合い、実践し、それを評価・検証し、より良いものにしていく過程（プロセス）を重視する	<u>相互信頼のネットワークの形成</u>	多様な主体が、過程（プロセス）を共有しながら、お互いの特色や違いを認め合い、支え合い、助け合う中で、相互に理解を深め、対等で確かな信頼関係に基づくパートナーシップを確立し、柔軟で多様なネットワークを形成する。地域間のネットワークという視点も必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍は終わっているので削除</li> </ul>
「ともに知る」	みんなで、地域の状況や課題などについて、知らせ合い、わかり合う																											
「ともに考える」	みんなで、知恵を出し合い、話し合い、ともに取り組む方向を考える																											
「ともに取り組む」	みんなで課題解決に向けて、お互いの持っている力を生かして、協力しながら、実行していく																											
「ともに確かめる」	これまでの取組について、できしたこと、できなかったこと、その原因などを明らかにし、今後どうするかについて、みんなで考える																											
「ともに支える」	お互いの信頼関係に基づき、みんなで参画と協働の仕組みや体制をつくる																											
「ともに知る」	みんなで、地域の状況や課題などについて、知らせ合い、わかり合う																											
「ともに考える」	みんなで、知恵を出し合い、話し合い、ともに取り組む方向を考える																											
「ともに取り組む」	みんなで課題解決に向けて、お互いの持っている力を生かして、協力しながら、実行していく																											
「ともに確かめる」	これまでの取組について、できしたこと、できなかったこと、その原因などを明らかにし、今後どうするかについて、みんなで考える																											
「ともに支える」	お互いの信頼関係に基づき、みんなで参画と協働の仕組みや体制をつくる																											
<u>県民主役による展開</u>	県民の自発的かつ自律的な地域づくり活動の取組を支援するとともに、県民生活を重視した県行政を推進する																											
<u>過程（プロセス）の共有</u>	県民一人ひとり、地域団体、ボランティアグループ、NPO、事業者、行政等といった地域社会の構成員が話し合い、実践し、それを評価・検証し、より良いものにしていく過程（プロセス）を重視する																											
<u>相互信頼のネットワークの形成</u>	多様な主体が、過程（プロセス）を共有しながら、お互いの特色や違いを認め合い、支え合い、助け合う中で、相互に理解を深め、対等で確かな信頼関係に基づくパートナーシップを確立し、柔軟で多様なネットワークを形成する。地域間のネットワークという視点も必要である。																											

現方策 (R3~R7)	新方策 (R8~R12)	修正等の考え方																												
<p><b>(3) 多様な力が集まる住民主体の地域づくりの充実</b></p> <p>住民が主体となって、様々な施策を活用し地域づくりを進めるためには、地域自らが課題を解決する力と、それを持続するための人材を確保・養成していく力である「地域力」を強化することを目的とした施策の展開が重要です。</p> <p>そのため、住民自らがより良い地域づくりに向け、地域の人材や資源を活かすとともに、多様な主体と協働しながら事業を展開し、住民主体で地域を運営する力の強化に取り組みます。</p> <p>また、地域において担い手・リーダーとなる人材を発掘し、地域の中でその人に合った活躍の場と機会を提供し、スキルアップする取組を支援します。</p> <p><b>(4) 県行政への参画・協働の推進</b></p> <p>県民のニーズを的確に把握し、生活者の視点に立った県政を展開していくため、県民と県行政が、地域課題や県政情報を十分に共有し、施策や事業の企画・実施・評価をする取組を推進します。</p> <p><b>【様々な形の連携】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>地 域 内 連 携</td><td>地域内での住民同士の連携（例：新旧住民が一体となったまちづくりなど）</td></tr> <tr> <td>地 域 間 連 携</td><td>空間を越えた地域同士の連携（例：都市と農村の地域団体による交流など）</td></tr> <tr> <td>世 代 間 連 携</td><td>異なる世代同士の連携（例：高齢者の活動経験の伝達と若い世代の新しい観点の融合、三世代交流など）</td></tr> <tr> <td>同 種 団 体 連 携</td><td>同種の活動を行う主体同士の連携（例：各地域で防犯活動を行うグループ同士の活動など）</td></tr> <tr> <td>異 業 種 連 携</td><td>属性の異なる主体同士の連携（例：地域団体、N P O、企業、大学の一体的な活動、公民協働など）</td></tr> <tr> <td>異 分 野 連 携</td><td>対象を同一にした別分野の活動の連携（例：子どもへの見守り・食育・環境教育など）</td></tr> <tr> <td>行 政 間 連 携</td><td>行政同士の連携（例：県と市町との協働事業など）</td></tr> </table>	地 域 内 連 携	地域内での住民同士の連携（例：新旧住民が一体となったまちづくりなど）	地 域 間 連 携	空間を越えた地域同士の連携（例：都市と農村の地域団体による交流など）	世 代 間 連 携	異なる世代同士の連携（例：高齢者の活動経験の伝達と若い世代の新しい観点の融合、三世代交流など）	同 種 団 体 連 携	同種の活動を行う主体同士の連携（例：各地域で防犯活動を行うグループ同士の活動など）	異 業 種 連 携	属性の異なる主体同士の連携（例：地域団体、N P O、企業、大学の一体的な活動、公民協働など）	異 分 野 連 携	対象を同一にした別分野の活動の連携（例：子どもへの見守り・食育・環境教育など）	行 政 間 連 携	行政同士の連携（例：県と市町との協働事業など）	<p><b>(2) 多様な主体による地域づくり</b></p> <p>多様化する地域課題等に対応するため、地域づくりの新たな担い手(起業家等) や市町・県民局・県民センター等の行政、社会福祉協議会・民間企業・青年会議所(JC)・商工会議所・商工会・学校運営協議会等も含め、地域の多様な主体間の連携をより強化し、協働による地域コミュニティのエンパワーメントを推進します。</p> <p>また、地域づくり活動には、にぎわいづくり活動や交流、生活課題の解決等が含まれますが、このうち、アプローチが難しい生活課題を顕在化できるのは地域づくり活動の実施主体です。これらの生活課題に対応する人材育成等にも努めます。</p> <p><b>(3) 県行政への参画・協働の推進</b></p> <p>県民のニーズを的確に把握し、生活者の視点に立った県政を展開していくため、県民と県行政が、地域課題や県政情報を十分に共有し、施策や事業の企画・実施・評価をする取組を推進します。</p> <p><b>【様々な形の連携】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>地 域 内 連 携</td><td>地域内での住民同士の連携（例：新旧住民が一体となったまちづくりなど）</td></tr> <tr> <td>地 域 間 連 携</td><td>空間を越えた地域同士の連携（例：都市と農村の地域団体による交流など）</td></tr> <tr> <td>世 代 間 連 携</td><td>異なる世代同士の連携（例：高齢者の活動経験の伝達と若い世代の新しい観点の融合、三世代交流など）</td></tr> <tr> <td>同 種 団 体 連 携</td><td>同種の活動を行う主体同士の連携（例：各地域で防犯活動を行うグループ同士の活動など）</td></tr> <tr> <td>異 業 種 連 携</td><td>属性の異なる主体同士の連携（例：地域団体、N P O、企業、大学の一体的な活動、公民協働など）</td></tr> <tr> <td>異 分 野 連 携</td><td>対象を同一にした別分野の活動の連携（例：子どもへの見守り・食育・環境教育など）</td></tr> <tr> <td>行 政 間 連 携</td><td>行政同士の連携（例：県と市町との協働事業など）</td></tr> </table>	地 域 内 連 携	地域内での住民同士の連携（例：新旧住民が一体となったまちづくりなど）	地 域 間 連 携	空間を越えた地域同士の連携（例：都市と農村の地域団体による交流など）	世 代 間 連 携	異なる世代同士の連携（例：高齢者の活動経験の伝達と若い世代の新しい観点の融合、三世代交流など）	同 種 団 体 連 携	同種の活動を行う主体同士の連携（例：各地域で防犯活動を行うグループ同士の活動など）	異 業 種 連 携	属性の異なる主体同士の連携（例：地域団体、N P O、企業、大学の一体的な活動、公民協働など）	異 分 野 連 携	対象を同一にした別分野の活動の連携（例：子どもへの見守り・食育・環境教育など）	行 政 間 連 携	行政同士の連携（例：県と市町との協働事業など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>提言内容を反映</li> </ul>
地 域 内 連 携	地域内での住民同士の連携（例：新旧住民が一体となったまちづくりなど）																													
地 域 間 連 携	空間を越えた地域同士の連携（例：都市と農村の地域団体による交流など）																													
世 代 間 連 携	異なる世代同士の連携（例：高齢者の活動経験の伝達と若い世代の新しい観点の融合、三世代交流など）																													
同 種 団 体 連 携	同種の活動を行う主体同士の連携（例：各地域で防犯活動を行うグループ同士の活動など）																													
異 業 種 連 携	属性の異なる主体同士の連携（例：地域団体、N P O、企業、大学の一体的な活動、公民協働など）																													
異 分 野 連 携	対象を同一にした別分野の活動の連携（例：子どもへの見守り・食育・環境教育など）																													
行 政 間 連 携	行政同士の連携（例：県と市町との協働事業など）																													
地 域 内 連 携	地域内での住民同士の連携（例：新旧住民が一体となったまちづくりなど）																													
地 域 間 連 携	空間を越えた地域同士の連携（例：都市と農村の地域団体による交流など）																													
世 代 間 連 携	異なる世代同士の連携（例：高齢者の活動経験の伝達と若い世代の新しい観点の融合、三世代交流など）																													
同 種 団 体 連 携	同種の活動を行う主体同士の連携（例：各地域で防犯活動を行うグループ同士の活動など）																													
異 業 種 連 携	属性の異なる主体同士の連携（例：地域団体、N P O、企業、大学の一体的な活動、公民協働など）																													
異 分 野 連 携	対象を同一にした別分野の活動の連携（例：子どもへの見守り・食育・環境教育など）																													
行 政 間 連 携	行政同士の連携（例：県と市町との協働事業など）																													

## 地域づくり活動の支援の方向（地域づくり活動支援指針）

要素	現方策（R3～R7）	新方策（R8～R12）	修正等の考え方
一	県民の自発的で自律的な意思に基づく地域づくり活動を支援するため、次の考え方方に立ち、支援施策を展開します。	(同左)	・審議会・提言内容を反映、県施策との調整
情報提供・相談体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ I C Tを活用した情報収集・分析・発信する力を充実・強化します           <ul style="list-style-type: none"> <li>*高度なデジタル通信サービスの環境整備 大容量高速通信が可能となる環境は、都市部に限らず多自然地域などの地域活性化のための重要なインフラであるため、情報通信基盤整備を一層強化します。</li> <li>*デジタルリテラシーの向上を支援 様々な学習機関等においてデジタルリテラシーの向上を支援し、地域の課題解決につなげます。</li> <li>*アプリ等を活用した地域内の情報共有促進</li> <li>*地域の課題解決に向けてビッグデータの活用促進</li> </ul> </li> <li>○ 地域づくり活動に関する情報をわかりやすく提供します           <ul style="list-style-type: none"> <li>*コラボネットなどを活用した地域づくり活動に関する情報収集・発信の促進 S N S (Instagram やL I N E等) などI C Tを活用した双方向性のある情報発信を充実するとともに、ひょうごボランタリープラザで運用している「地域づくり活動情報システム（コラボネット）※」を通じて、活動の情報提供やマッチングの促進を図ります。</li> <li>*各種支援施策、日本遺産や地域の文化、歴史等の地域資源に関する情報を提供</li> </ul> </li> <li>○ 活動の段階に応じた幅広い相談に対応します           <ul style="list-style-type: none"> <li>*県民局・県民センターや生活創造センターにおける相談体制の構築</li> <li>*ひょうごボランタリープラザとN P O等との連携による相談体制の充実</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ I C Tを活用した情報収集・分析・発信する力を充実・強化します           <ul style="list-style-type: none"> <li>*デジタル技術を活用した社会課題の解決を図る「スマート兵庫」の実現 <u>移動・買い物支援等の地域課題について、市町や事業者等と連携して配送 DX モデルの構築に取り組む等、デジタル技術の社会実装による課題解決を推進し、「スマート兵庫」を実現します。</u></li> <li>*地域での教え合い等によるデジタルデバイド（情報格差）の解消 <u>スマホの基本操作を地域で指導する人材を養成し、市町や社会福祉協議会等と連携しながら、教え合いを促すこと等により、デジタルデバイド（情報格差）の解消を図ります。</u></li> </ul> </li> <li>○ 地域づくり活動に関する情報をわかりやすく提供します           <ul style="list-style-type: none"> <li>*コラボネット・S N S・ポッドキャスト等多様なコンテンツを活用した地域づくり活動に関する情報収集・楽しさの発信 <u>S N S・ポッドキャスト等多様なコンテンツや、ひょうごボランタリープラザで運用している「地域づくり活動情報システム（コラボネット）※」を通じて、活動の楽しさ等が伝わる情報提供やマッチングの促進を図ります。</u></li> <li>*県保有情報など地域づくり人材の情報を一元化 <u>広域的に活動する地域づくり人材の情報を一元化し、特定分野の専門人材だけでなく、対話する場を主導していく人材として活用します。</u></li> </ul> </li> <li>○ 活動の段階に応じた幅広い相談に対応します           <ul style="list-style-type: none"> <li>*県民局・県民センターや生活創造センターにおける相談体制の構築</li> <li>*ひょうごボランタリープラザとN P O等との連携による相談体制の充実</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修正がない箇所は項目のみ記載</li> <li>・審議会協議内容のとおり、要素の掲載順を入れ替える。便宜的に現方策・新方策ともに入替え後の順に記載する。</li> <li>・スマート兵庫戦略（R7. 3 改訂）から最近の具体的事例を記載</li> <li>・スマート兵庫戦略にアプリやビックデータの活用促進の記載があるため削除</li> <li>・審議会・提言内容を反映</li> </ul>
「場」・仕組みづくり支援	<p>&lt;地域を持続的に運営する仕組みの強化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 持続可能な地域コミュニティの基盤形成を支援します           <ul style="list-style-type: none"> <li>*合意形成・プロセス重視の仕組みづくりの推進</li> <li>*過疎地域での相互補完による地域コミュニティづくりの推進 過疎地域を取り巻く環境の変化を踏まえ、集落機能の低下への対応や持続的な地域づくり基盤の形成を進めます。</li> <li>*時代の変化に合わせた新たな地域のあり方を模索している好事例の横展開 S N Sなどを活用した地域情報の回覧や地域運営組織の法人化など、地域のニーズに沿った取組を好事例として情報共有していきます。</li> <li>*問題意識などで結びつく「関心共同体（サードプレイス）」の活動支援</li> </ul> </li> </ul>	<p>&lt;地域を持続的に運営する仕組みの強化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 持続可能な地域コミュニティの基盤形成を支援します           <ul style="list-style-type: none"> <li>*合意形成・プロセス重視の仕組みづくりの推進</li> <li>*「小規模多機能自治組織」等による主体的な対話の場づくりの推進 <u>「小規模多機能自治組織」のような、慣習や上下関係にとらわれず、若い世代から高齢者、在住外国人、民間や行政など多様な主体が参加し、分野毎に主体的に対話できる場を推進します。</u></li> <li>*時代の変化に合わせた新たな地域づくりの推進（柔軟な最適化） <u>S N Sなどを活用した地域情報の回覧や地域運営組織の法人化、人口が減少しても自分のまちで豊かに暮らしきれることを目指す「縮充」のまちづくり等、地域のニーズに沿った、まちのあり方の柔軟な最適化を推進します。</u></li> </ul> </li> </ul> <p>(削除)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提言内容を反映</li> <li>・サードプレイスは次に記載のため削除</li> </ul>

要素	現方策 (R3~R7)	新方策 (R8~R12)	修正等の考え方
「場」・仕組みづくり支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コロナ禍をきっかけに生まれた地域づくり活動を促進します           <ul style="list-style-type: none"> <li>* NPO 中間支援団体と連携し、オンラインをはじめとした ICT の活用を支援</li> <li>* コロナ禍を契機に実施される地域をつなぐ取組を支援</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;できる時にできる方法で関わる仕組みの充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域への参加方法や関わり方の多様化を推進します           <ul style="list-style-type: none"> <li>* ちょボラやプロボノによる地域とのつながり方の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>ライフスタイルや個人の状況に応じて地域活動へ参加できるよう、ランニングパトロールなど趣味を兼ねて気軽にできる「ちょボラ」や、自らの持つ専門的知識や特技、スキルを活用する「プロボノ」、問題意識や趣味などの関心のもとに結びつく関心共同体（サードプレイス）といった様々なつながり方を促進します。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係人口など地域外からの参加を促す仕組みづくりを推進します           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 交流や将来な移住につなげるひょうご e-県民登録制度の拡充と地域情報発信の強化</li> <li>* 地域おこし協力隊や県版地域おこし協力隊による地域の活動促進</li> <li>* 空き家や遊休農地の活用等による二地域居住の促進</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;できる時にできる方法で関わる仕組みの充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域への参加方法や関わり方の多様化を推進します           <ul style="list-style-type: none"> <li>* ちょボラやプロボノによる地域とのつながり方の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li><u>働き方改革やリモートワークの普及も相まって関心が高まっている</u>、ランニングパトロールなど趣味を兼ねて気軽にできる「ちょボラ」や、自らの持つ専門的知識や特技、スキルを活用する「プロボノ」、問題意識や趣味などの関心のもとに結びつく関心共同体（サードプレイス）といった様々なつながり方を促進します。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 参画しやすい受入体制づくり           <ul style="list-style-type: none"> <li><u>都合の良い時に、誰もが好きなことだけ気軽に参加できるような、必ずしも継続を前提としない活動等、参加のハードルを下げ、活動したい人が参画しやすい受け入れ体制づくりを推進します。</u></li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係人口など地域外からの参加を促す仕組みづくりを推進します           <ul style="list-style-type: none"> <li>(削除)</li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域おこし協力隊や県版地域おこし協力隊による地域の活動促進</li> <li>* 空き家や遊休農地の活用等による二地域居住の促進</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コミュニティビジネス等による社会課題の解決           <ul style="list-style-type: none"> <li><u>民間企業・非営利法人等との連携や、人材面、経済面等において持続可能な仕組みとしてのコミュニティビジネス等による社会課題の解決を推進します。</u></li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域資源や基盤を活用し、地域間交流を促進します           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 日本遺産や歴史文化遺産等、地域資源を活かした交流促進</li> <li>* 広域的な地域間交流を支える交通基盤の充実</li> </ul> </li> </ul>	<p>(削除)</p> <p>&lt;できる時にできる方法で関わる仕組みの充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域への参加方法や関わり方の多様化を推進します           <ul style="list-style-type: none"> <li>* ちょボラやプロボノによる地域とのつながり方の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li><u>働き方改革やリモートワークの普及も相まって関心が高まっている</u>、ランニングパトロールなど趣味を兼ねて気軽にできる「ちょボラ」や、自らの持つ専門的知識や特技、スキルを活用する「プロボノ」、問題意識や趣味などの関心のもとに結びつく関心共同体（サードプレイス）といった様々なつながり方を促進します。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 参画しやすい受入体制づくり           <ul style="list-style-type: none"> <li><u>都合の良い時に、誰もが好きなことだけ気軽に参加できるような、必ずしも継続を前提としない活動等、参加のハードルを下げ、活動したい人が参画しやすい受け入れ体制づくりを推進します。</u></li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係人口など地域外からの参加を促す仕組みづくりを推進します           <ul style="list-style-type: none"> <li>(削除)</li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域おこし協力隊や県版地域おこし協力隊による地域の活動促進</li> <li>* 空き家や遊休農地の活用等による二地域居住の促進</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コミュニティビジネス等による社会課題の解決           <ul style="list-style-type: none"> <li><u>民間企業・非営利法人等との連携や、人材面、経済面等において持続可能な仕組みとしてのコミュニティビジネス等による社会課題の解決を推進します。</u></li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域資源や基盤を活用し、地域間交流を促進します           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 日本遺産や歴史文化遺産等、地域資源を活かした交流促進</li> <li>* 広域的な地域間交流を支える交通基盤の充実</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍を契機とした ICT の活用等はすでに日常となっているため削除</li> <li>・「働き方改革の関連」を追記</li> </ul> <p>・「*移住、関係人口の創出につながる拠点づくりの促進」に記載のため削除</p> <p>・提言、審議内容を反映</p>
活動・交流拠点の確保	<p>地域づくり活動に取り組む団体が恒常に活動に取り組める拠点や、何かしたいときに気軽に立ち寄ることのできる拠点の整備を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 何かしたいときに気軽に立ち寄れる拠点の整備を支援します           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域の情報と多様な主体を結び、活動につなげる拠点機能の充実</li> <li>* 空き家や遊休施設等を有効活用した拠点づくりの促進</li> </ul> </li> </ul>	<p><u>地域づくり活動に取り組む団体が恒常に活動に取り組める拠点や、気軽に立ち寄れて共感し参加ができる拠点の整備を支援します。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 共感し参加することができる「人が人を呼ぶ」構造が機能する拠点づくりを支援します           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域の情報と多様な主体を結び、活動につなげる拠点機能の充実</li> <li>* 空き家や遊休施設等を有効活用した拠点づくりの促進</li> </ul> </li> </ul> <p><u>*移住、関係人口の創出につながる拠点づくりの促進</u></p> <p><u>地域の魅力や、先輩移住者のインタビュー記事などのコンテンツを充実させ、多様な層へのアプローチを行い、移住・定住につなげるほか、都市部の住民ボランティアと多自然地域をつなぐプラットフォームの整備等、共感し参加することができる「人が人を呼ぶ」構造が機能する拠点づくりを支援します。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提言内容を反映</li> </ul>
多様なネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様な主体との連携・協働を支援します           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域・団体・企業等の多様な主体との協働促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>地域づくり活動に関する情報の発信、交流機会の充実等を通じて、地域・団体・企業等の多様な人・団体のネットワークづくりを推進します。</li> </ul> </li> <li>* ネットワーク会議や事業報告会を通じたつながり形成の支援</li> <li>* 災害に備えたネットワークの構築               <ul style="list-style-type: none"> <li>災害時のボランティア活動がスムーズに展開されるよう、行政（県・市町）、県・市町社会福祉協議会、ひょうごボランタリープラザが連携し、災害救援NPOや企業など関係機関を含めた平時からのネットワークづくりを進めます。</li> </ul> </li> <li>* 県と市町との連携の促進</li> </ul> </li> </ul>	<p>(削除)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様な主体との連携・協働を支援します           <ul style="list-style-type: none"> <li><u>*起業家等新たな担い手の発掘及び連携の促進</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域外の人やテーマ型コミュニティ、起業家等、これまで地域づくりにあまり参画していない新たな担い手を発掘し、社会福祉協議会・民間企業・青年会議所（JC）・商工会議所・商工会・学校運営協議会・大学等も含め、地域の多様な主体間の連携を強化し、協働により地域コミュニティのエンパワーメントを図ります。</li> </ul> </li> <li>* ネットワーク会議や事業報告会を通じたつながり形成の支援</li> <li>* 災害に備えたネットワークの構築や災害中間支援組織の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li><u>災害時のボランティア活動がスムーズに展開されるよう、行政（県・市町）、県・市町社会福祉協議会、ひょうごボランタリープラザ等が連携し、「災害中間支援組織」として災害救援NPOや企業など関係機関を含めた平時からのネットワークづくりを進めます。</u></li> </ul> </li> <li>* 県と市町との連携の促進</li> </ul> </li> </ul> <p><u>*大学や21世紀研究機構等の学術・シンクタンク機関との連携</u></p> <p><u>地域課題の把握や解決について調査研究を行う大学やひょうご震災記念21世紀研究機構等の学術・シンクタンク機関との連携を強化します。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次項目に記載のため</li> <li>・提言内容を反映</li> </ul>

要素	現方策 (R3~R7)	新方策 (R8~R12)	修正等の考え方
知識・技能の習得機会提供	<p>○ 参加・スキルアップのきっかけづくりを充実します</p> <p>*住民交流を通じたきっかけづくりの充実 *地域課題解決のための学習、スキルアップ、交流機会の充実 住民の地域への誇りや愛着を深め、地域活動につなげるため、地域資源（地域の文化・歴史・自然など）や地域課題を学ぶ機会を提供するとともに、ライフステージの各段階に応じて、地域での活動を志向する人のための学習、交流機会の充実を図ります。 *ふるさとへの愛着を醸成する青少年の体験学習の充実 *実践の場の提供、経験者等のサポートの充実 地域課題の解決を担う人材としての能力を高めていくため、各種人材養成講座において、フィールドワークなど実践的講座を充実するとともに、学びを実践に移すための適切な情報提供及び活動と人材をマッチングする仕組みの構築を推進します。 また、高齢者大学や地域ビジョン委員等で活動した人々が、これまでの経験やネットワークを活かして活動を継続できるよう、お互いの連携とともに、地域社会や様々な地域づくり活動のリーダー等とのつながりづくりを支援します。</p> <p>○ 全員活躍社会に向け、生涯を通じた学びを強化します</p> <p>*高齢者をはじめ多様な世代の生涯学習を推進 *対面と遠隔を合わせた生涯教育システムの構築 *地域や企業での活躍を支えるリカレント教育の充実</p>	<p>○ 参加・スキルアップのきっかけづくりを充実します</p> <p>*住民交流を通じたきっかけづくりの充実 <b>*地域団体の活動に対する伴走型支援の充実や職員のファシリテーション能力向上等の地域課題解決に向けたスキルアップ</b> 住民の地域への誇りや愛着を深め、地域活動につなげるため、地域資源（地域の文化・歴史・自然など）や地域課題を学ぶ機会を提供するとともに、ライフステージの各段階に応じて、地域での活動を志向する人や活動を支える人のための書類作成等のスキルアップを含めた学習、交流機会の充実を図ります。 地域課題の解決を担う人材としての能力を高めていくため、各種人材養成講座において、フィールドワークなど実践的講座を充実するとともに、学びを実践に移すための適切な情報提供及び活動と人材をマッチングする仕組みの構築を推進します。 また、高齢者大学や地域ビジョン委員等で活動した人々が、これまでの経験やネットワークを活かして活動を継続できるよう、お互いの連携とともに、地域社会や様々な地域づくり活動のリーダー等とのつながりづくりを支援します。 <b>自治体職員が地域づくりの担い手として参画することも想定し、自治体が設置した住民との対話の場において若手職員がファシリテーターを担うなど、職員のスキルアップを図ります。</b> *ふるさとへの愛着を醸成する青少年の体験学習の充実</p> <p>○ 全員活躍社会に向け、生涯を通じた学びを強化します</p> <p>*高齢者をはじめ多様な世代の生涯学習を推進 <b>(削除)</b> *地域や企業での活躍を支えるリカレント教育の充実 <b>*公民館や図書館をハブとした地域活動拠点の形成</b> <b>地域住民に身近な施設として大きな強みを持つ公民館や図書館を、地域住民が学び、つながる、地域活動拠点として機能を充実します。</b> <b>*ワークショップやフィールドワークを通じた地域課題の発見</b> <b>中高生等が自ら身近な地域課題を発見し、具体的な政策を立案、プレゼンテーションを行う等、自分たちの住んでいる地域への関心を高め、地域課題の発見につながる活動等を支援します。</b></p>	<p>*地域課題解決のための学習、スキルアップ、交流機会の充実と*実践の場の提供、経験者等のサポートの充実の2項目を審議内容を反映し、まとめて記載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対面と遠隔を合わせた生涯教育システムの構築については、すでにオンライン化がすすんでいるため削除</li> </ul>
地域人材の確保	<p>○ 活動に参加・協賛する人材を確保します ～若者がチャレンジできる機会の醸成、女性・シニアの活躍～</p> <p>*大学生等と住民との連携によるオールドニュータウン再生への活動支援 地域活性化を図るために、大学生等と地域住民が連携して実施する地域課題の解決に向けた取組や、観光客の誘致に向けた観光資源の掘り起こし、オールドニュータウンの再生などの活動を支援します。 *世代間の相互理解が進み、役割が継承される雰囲気の醸成 *誰もがあらゆるライフステージで活躍できる環境づくりの推進 女性やシニア世代など誰もが様々なライフステージにおいて、身近な課題解決に向けて提案や実践活動に取り組めるよう、活動事例等の情報提供、講座の開催、異世代の交流機会の提供等の支援を行います。</p> <p>○ 活動団体の担い手の発掘と育成を推進します</p> <p>*リーダー育成への支援 地域づくり活動を具体的な成果につなげるには、活動目的を明確にするとともに、リーダーシップを發揮し、活動の核となる人材の育成が重要であることから、講座の開催などにより、リーダーのスキルアップや後継者の発掘・育成支援に取り組みます。 *組織運営など専門的知識を有する人材育成の支援・団体運営のノウハウの提供</p>	<p>○ 活動に参加・協賛する人材を確保します ～誰もがチャレンジできる機会の醸成～</p> <p><b>*地域のロールモデルと若者のマッチングや体験活動の機会創出による地域活動の担い手確保</b> <b>若者が地域課題に取り組む機会を創出し、地域活動への関心を高め、継続的に地域活動に参画する意欲を育みます。</b></p> <p>*世代間の相互理解が進み、役割が継承される雰囲気の醸成 <b>*性別・年齢等を問わずに活躍できる土台づくりの推進</b> <b>こどもも含め、障害の有無等を問わず、自分の意見や気持ちを安心して表現できる土台をつくり、こどもや障害者等がサービスを受ける側になるだけでなく、主体的に参画できる側に繋げていきます。</b></p> <p>○ 活動団体の担い手の発掘と育成を推進します</p> <p><b>(削除)</b> <b>*地域づくりの「核」となるコーディネーターの育成・確保</b> <b>地域づくり活動団体を支援するコーディネーターを、ひょうごボランタリープラザと連携して育成し、コーディネーター同士をつなぐほか、地域住民自らが主体的に活動を継続するための支援ができる体制の整備を進めます。</b></p> <p>*組織運営など専門的知識を有する人材育成の支援・団体運営のノウハウの提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オールドニュータウン再生事業廃止のため、地域創生戦略に記載の事業に例示事業を変更</li> <li>・提言内容を反映</li> <li>・前項目で「地域のネクストリーダー発掘プロジェクト」を記載のため、リーダー育成への支援を削除</li> <li>・提言内容を反映</li> </ul>

要素	現方策 (R3~R7)	新方策 (R8~R12)	修正等の考え方
地域人材の確保	<p>○ 地域活動に取り組む多様な主体を支援します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*ボランティアグループ・NPO等多様な主体による地域課題への取組の支援</li> <li>*地縁団体等の活動への支援</li> <li>*保有資源の活用や本来業務を通じた企業の地域貢献の支援</li> </ul>	<p>○ 地域活動に取り組む多様な主体を支援します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*ボランティアグループ・NPO等多様な主体による地域課題への取組の支援</li> <li>*地縁団体等の活動への支援</li> <li>*保有資源の活用や本来業務を通じた企業の地域貢献の支援</li> </ul>	
協働によるエンパワーメント		<p><u>地域づくりの新たな担い手(起業家等) や社会福祉協議会・民間企業・青年会議所(JC)・商工会議所・商工会・学校運営協議会等も含め、地域の多様な主体間の連携をより強化し、協働により地域コミュニティのエンパワーメントを図ります。</u></p> <p>○ <u>個々の主体のエンパワーメントと主体間の連携によるエンパワーメントを促進します</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>*行政・起業家・社会福祉協議会・民間企業・JC・商工会議所・商工会・学校運営協議会等、地域の多様な主体間の連携強化</u></li> <li><u>多様化する地域課題に対応するため、地域づくりの新たな担い手(起業家等) や行政、社会福祉協議会・民間企業・青年会議所(JC)・商工会議所・商工会・学校運営協議会等も含め、多様な主体間の連携を強化し、協働による地域コミュニティのエンパワーメントを図ります。</u></li> <li><u>*公民連携による地域クラスター形成やイノベーション創出を通じた共通価値 (CSV : Creating Shared Value) の実現</u></li> <li><u>地域づくり活動においても企業、大学、研究機関、自治体等がネットワークを構築し、集積による相乗効果や地域の強みを生かすクラスターの形成、新事業の創出等を通じたより良い社会、持続可能な未来を創造する共有価値の創造を支援します。</u></li> <li><u>*中間支援団体によるエンパワーメントの支援</u></li> <li><u>多様な中間支援を担う人材 (NPO法人や労働者協同組合、起業家、自治体職員が役割を担う場合も含む) が連携・協働し、地域づくり活動の実施主体のエンパワーメントを支援します。</u></li> </ul>	・提言内容を反映
資金調達支援	<p>○ 事業を展開する力の強化を支援します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*様々な手段による活動資金確保の仕組みの充実</li> <li>*ボランタリー基金を活用し、地域づくり活動の拡がりに応じた支援を展開</li> <li>*補助金等の一覧や採択基準等を県民の立場に立ち分かりやすく明示</li> </ul> <p>○ 活動資金を生み出す仕組みづくりを支援します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*資金調達のノウハウ・事例の提供</li> <li>地域づくり活動の展開に必要な資金を調達するためのノウハウや事例の提供など、活動が自立して継続されていくための支援に取り組みます。</li> <li>*地域の活動にビジネスの視点の導入支援</li> <li>継続的な活動を行えるよう、地域団体やNPOなどによる地域資源を活かしたコミュニティビジネスへの取組を支援します。</li> <li>*寄附・出資、企業協賛等による参画促進</li> <li>寄附の仕組みや意義、多くの人たちの共感を得ている地域づくり活動の取組事例などを広く県民に周知することを通じて、寄附文化の醸成を図るとともに、クラウドファンディングやふるさと寄附金、企業協賛など地域内外の人たちが様々な形で地域づくり活動を支える仕組みづくりを進めます。</li> </ul>	<p>○ 事業を展開する力の強化を支援します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*様々な手段による活動資金確保の仕組みの充実</li> <li>*ボランタリー基金を活用し、地域づくり活動の拡がりに応じた支援を展開</li> <li>*補助金等の一覧や採択基準等を県民の立場に立ち分かりやすく明示</li> </ul> <p>○ 活動資金を生み出す仕組みづくりを支援します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*資金調達のノウハウ・事例の提供 (<u>市民ファンドの活用等</u>)</li> <li>地域づくり活動の展開に必要な資金を調達するためのノウハウや事例の提供など、活動が自立して継続されていくための支援に取り組みます。</li> <li><u>*NPO法人等における安定財源の確立 (自主事業収益、会費収入等)</u></li> <li><u>継続的な活動を行えるよう、地域団体やNPOなどによる地域資源を活かしたコミュニティビジネス等への取組や、自主事業収入、会費収入等の確保を支援します。</u></li> <li><u>*ガバメントクラウドファンディング、寄附、出資、企業協賛等による参画促進</u></li> <li><u>寄附の仕組みや意義、多くの人たちの共感を得ている地域づくり活動の取組事例などを広く県民に周知することを通じて、寄附文化の醸成を図るとともに、ガバメントクラウドファンディングやふるさと寄附金、企業協賛など地域内外の人たちが様々な形で地域づくり活動を支える仕組みづくりを進めます。</u></li> </ul>	・提言内容を反映

## 参画と協働による県行政推進の方向（県行政参画・協働推進計画）

要素	現方策（R3～R7）	新方策（R8～R12）	修正等の考え方
一	次の考え方を基本に、県民の視点に立った参画と協働による県行政を推進します。	(同左)	
情報公開の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県民に情報を分かりやすく、主体的に選択できるよう提供します           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 多様化する広報媒体の特性を踏まえたきめ細かな情報提供</li> <li>* 印刷物の編集方法の工夫やICTを活用した双方向性のある広報の推進</li> <li>* 広報誌等の市町施設での配布など身近な機会での情報提供の充実</li> <li>* 専門人材の登用によるパブリシティ活動の強化</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県民に情報を分かりやすく、主体的に選択できるよう提供します           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 多様化する広報媒体の特性を踏まえたきめ細かな情報提供</li> <li>* 印刷物の編集方法の工夫やICTを活用した双方向性のある広報の推進</li> <li>* 広報誌等の市町施設での配布など身近な機会での情報提供の充実</li> <li>* 専門人材の登用によるパブリシティ活動の強化</li> </ul> </li> </ul>	
政策形成過程への参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県行政に県民の意見・提案をつなぐ機会を積極的に確保します           <ul style="list-style-type: none"> <li>* さわやか提案箱など気軽に提案できる機会や、県民フォーラムなど対話機会の確保</li> <li>* 県民意見提出手続（パブリック・コメント手続）制度の適切な運用</li> </ul> </li> <li>○ 参画と協働により新しいビジョンを策定し、推進を図ります           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 多様な主体の参画によるビジョンの策定</li> <li>* ビジョンの実現に向けた県民主体の取組の推進</li> </ul> </li> <li>○ 審議会などへの県民の参画機会を拡げます           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 委員公募制度の推進</li> <li>* 審議会の情報公開を進めるとともに、審議会の運営方法等の工夫</li> <li>* アドバイザー・専門委員などにより県民の広範なニーズを把握し、施策に反映</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県行政に県民の意見・提案をつなぐ機会を積極的に確保します           <ul style="list-style-type: none"> <li>* さわやか提案箱など気軽に提案できる機会や、県民フォーラムなど対話機会の確保</li> <li>* 県民意見提出手続（パブリック・コメント手続）制度の適切な運用</li> <li><u>*オンラインプラットフォーム等多様な手法による住民参画の促進</u> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>オンラインプラットフォーム等の活用により、物理的、時間的、心理的事情等でリアルな協働の場に参加が難しい住民の参画を促します。</u></li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○ 参画と協働により新しいビジョンを策定し、推進を図ります           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 多様な主体の参画によるビジョンの策定</li> <li>* ビジョンの実現に向けた県民主体の取組の推進</li> </ul> </li> <li>○ 審議会などへの県民の参画機会を拡げます           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 委員公募制度の推進</li> <li>* 審議会の情報公開を進めるとともに、審議会の運営方法等の工夫</li> <li>* アドバイザー・専門委員などにより県民の広範なニーズを把握し、施策に反映</li> <li><u>*県民からの政策提案機会の拡充</u> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>対話と現場主義による地域課題の把握と県政への反映を行うため、県民からの政策提案機会を拡充します。</u></li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 提言内容を反映</li> </ul>
公民連携による政策実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様な公民協働の取組を展開します           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 多様な主体の共催事業の推進</li> <li>* 指定管理者制度による施設運営の展開</li> <li>* ひょうごアドプトの推進</li> <li>* 推進員が円滑に活動できる環境づくりの支援</li> <li>* ふるさとひょうご寄附金による地域活動支援の推進</li> <li>* 企業等との連携協定に基づく協働の推進</li> <li>* 県民が参画できる県公報基盤の充実</li> <li>* 行政手続・サービスのデジタル化の推進</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様な公民連携の取組を展開します           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 多様な主体の共催事業の推進</li> <li>* 指定管理者制度による施設運営の展開</li> <li>* ひょうごアドプトの推進</li> <li>* 推進員が円滑に活動できる環境づくりの支援</li> <li>* ふるさと<u>納税等を活用した</u>地域活動支援の推進</li> <li>* 企業等との連携協定に基づく協働の推進</li> <li>* 県民が参画できる県公報基盤の充実</li> <li>* 行政手続・サービスのデジタル化の推進</li> <li><u>*各市町の状況を考慮した柔軟な支援の実施</u> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>市町・自治会・NPO・企業等、地域づくり活動の実施主体による連携等に関する技術的助言を通じ、ノウハウ共有やツール開発、人材育成など、基礎自治体である市町がより効果的な施策形成・制度設計を行えるよう、各市町の状況を考慮しながら、柔軟な支援を行います。</u></li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 提言内容を反映</li> </ul>
多角的視点からの評価・検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県行政に県民の意見・提案をつなぐ機会を積極的に確保します           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 県の行政施策の推進状況や成果等をわかりやすく公表</li> <li>* インターネットアンケートや県民モニター制度など評価への参画機会の確保</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県行政に県民の意見・提案をつなぐ機会を積極的に確保します           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 県の行政施策の推進状況や成果等をわかりやすく公表</li> <li>* インターネットアンケートや県民モニター制度など評価への参画機会の確保</li> <li><u>*行政DXダッシュボード、県勢ダッシュボード等を活用した地域の現状分析や課題の発見</u> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>県行政のデジタル化や県勢に関するオープンデータを活用し、地域の現状分析や課題の発見につなげます。</u></li> </ul> </li> <li><u>*「躍動カフェ」等を通じた参加者間の連携促進や県施策への反映</u> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>「躍動カフェ」等を通して、地域で活躍する方々の様々な取組を共有するとともに、地域の魅力や課題、将来像について共に考えることで、参加者間の連携促進や県施策への反映等、より良い地域づくりを推進します。</u></li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 提言内容を反映</li> </ul>